

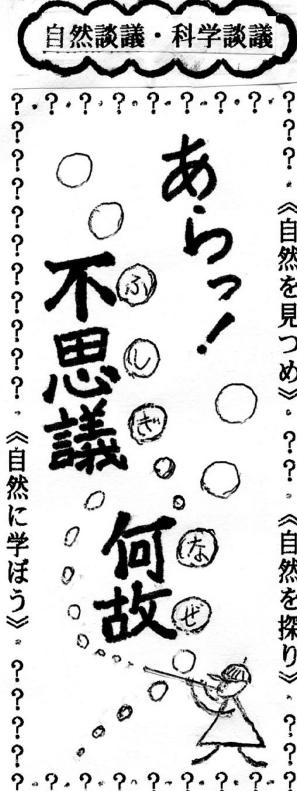
大正12年の関東大震災の際、地震が来る前に、キジがケーンケーンと異様な鳴き声を発したという記録が、あちこちにあります。桃太郎伝説でも、キジが家来で登場する。昔は、身の回りに相当数いたのであろう。だから

日本特産の「国鳥」

日本特産の「国鳥」

キジと言うと、桃太郎伝説を思い出す。キジは日本特産の鳥で、日本の「国鳥」に指定されている。最近はあまり見かけないが、昨年の6月、我が家の畑に、珍しくオスのキジが現れた。どこから来たのか、棲み家はどこか疑問は尽きない。そこで、今月はキジをテーマに考えてみたい。

## 国鳥「キジ」現る



ら、狩猟の対象にもなつていた。「獵鳥」だ。

だが最近は、ほとんど見かけない。キジを見たという話も聞かないし、話題にもなっていない。もともと、日本特産の鳥であり、「国鳥」にも指定されているのに……。

そう言えば、10年前にも、同じ場所に雌雄番で来たことがある。同じキジなのだろうか。同じだとしたら、どこで、どう暮らしていたのか知りたい。

が姿を見せた。どこから来たのだろう、どこに棲むんでいるのだろう、と感動しながら考えてみた。

そして、4月から7月にかけて、地上のくぼみに巣を作る。枯れ草や枯れ枝・羽毛などを敷き、7、8個の卵を産む。一夫多妻制で、子育てはもうぱら母鳥の役目のようだ。

その棲み家や暮らしぶりを調べたら、珍しい研究になりそうだ。どなたか調べてみませんか。「国鳥」の自然保護のきっかけになるかもしれません。

NO. 14 (通算14)

## 絵・文・題字 渋谷 一夫

年中身近にいたし、捕獲されたと思う。また留鳥で、理由かもしれない。

### 南畠にキジ出現

物としてたくさん捕獲されたと思う。また留鳥で、理由かもしれない。

食糧難の頃は、当然食べられた

そこで、各種資料を調べてみた。

### オスは派手メスは地味

オスは全体に美しい姿をしている。緑黒色で金属的なつやがある。目の回りの皮膚が裸出して赤色を帯びている。尾羽は

### 棲み家は河川敷か

我が家の畑に現れたキジは、いったいどこに棲んでいたのかな。新河岸川の河川敷の草むらかな、耕作放棄の荒れ地かな、それとも荒れた屋敷林かな、疑問は尽きない。

